

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 福寿万記の里

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 3月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間を想定した災害対策が不十分。	地域と連携強化を図り、夜間の災害時の対応が出来るよう体制を整える。	施設内の夜間を想定した避難訓練の実施と、推進会議を通して地域と連絡を密に取り、災害時の態勢を整えていく。	12ヶ月
2	4	地域運営推進会議の定期開催と行政の連携不足。	地域運営推進会議の定期開催と行政との連絡強化。	新年度より、今まで3~4ヶ月に1度だった会議を最低でも2ヶ月に1度開催し、その会議に行政の関係者を招待する事で、施設と行政との連携を強化していく。	12ヶ月
3	10	特定の利用者様の意見及びそのご家族様の意見しかヒアリングできていない。	定期的にアンケートなどを実施し、利用者様及びご家族様全員のご意見を施設運営に反映する。	定期的なアンケートの実施及び施設の行事にご家族様に参加していただくことで、アンケート調査には出てこないご家族様の生の声を聞く。	6ヶ月
4	49	外出機会が減っている。	定期的な外出・外食の実施。	フロア単位でレクリエーション計画を作成・実施し、そのフロアに入居している利用者様に合った生活支援を行う。	12ヶ月
5	14	他事業所との交流不足。	他事業所との交流の活性化。	地域運営推進会議に参加していただくなどの方法で交流を図り、共同で研修を行うなど他事業所との交流を活性化する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。